

しして祔祠ハ皇孫に建——と見へし。按
まゝに伊勢菴ふ合するハ伊勢菴の再誕
諾するハ阿蘇院の再誕なりと例の三世ハ附
會——と説きし。夏月菴詣の頃ハ羽皇
より列代執事代として海僧堂山出羽を後
け山より一里をるまゝ海濱——ありし

月の峯菴まのやハきりれと

神のうらやみハ風や吹く——と

霧ありきまの下のふり入て

雲の上なる月を見るなり

あハ大守の歌とを羽源記十一と書に見
へし。羽皇月山湯飯三山雅集ハ手向文
殊院昌嘉の発起として意匠のちふふありの
選述なり。江陵北菴淳生願解を至北村湖
元跋文を加へし。この事記詩歌連催の
口号を記して他邦ハ廣め三山ハ安を記し
まゝの如大し。選述の考証と云ふれ侍
る。然といへば羽皇権現ハ伊勢波神社。ま
事を止かへし。事ハ何し。事そや信託者
の心を推し。に月を禪牛山延喜社名帳